

伏線を理解し、作品を読み深める

さ東・長尾中 有馬里南

1 小説「ヒューマノイド」の授業実践

(1) 題材について

① 本題材は、令和7年度から教科書に導入された、伊坂幸太郎による書きおろしの小説である。三十歳の会社員である「僕」が生きる現在の時間と、「僕」が回想する過去の時間が交差しながら展開していく。この現在と過去は伏線によって繋がっており、登場人物の言動や描写の意味を考えたり、比較したりすることにより、二人の変化や成長、あるいは変わらないものを読み解くことができると考える。本教材を通して、学習指導要領の〔知識・技能〕(1)オや、〔思考・判断・表現〕C読むこと(1)イの力を育てていきたい。

② 本学級は、全体での発表に控えめな生徒が多いが、与えられた課題にしっかりと取り組むことができている。一学期に行ったプレゼンテーションの授業では、ICTを用いてアンケートを取り、その結果をもとにスライドを作成し、生徒の多くが、自分が伝えたいことを発表原稿にしっかりとまとめることができた。また、本校は学校全体で毎日10分間の朝読書の時間を設けている。本学級では、この朝読書の時間を楽しみにしている生徒が多くおり、朝の時間より早くから読書をするなど、自ら進んで読書をする姿勢が見られる。反面、読書に意欲的でない生徒も数名いる。この題材で、作者が創り出した伏線や、その伏線が気持ちよく回収されていく描写など、文学を読む楽しさを味わい、普段の読書生活をより豊かなものとするようにしたい。

③ 以上のことを踏まえ、次の点に留意し

て指導したい。

- ・ 生徒自身の経験を踏まえた上で、作品のテーマである「恥ずかしさ」について授業の初めと終わりに考える時間を設け、多様な考え方や感じ方を共有する。
- ・ 例を用いて伏線とその効果の説明をすることで、自分で作品中の伏線を見つけられるようにし、普段の読書生活に生かせるようにする。

(2) 題材の目標

- ・ 話や文章の構成、展開についての理解を深めることができる。
- ・ 伏線を理解し、自分で見つけ、自分なりに内容を解釈できる。
- ・ 過去と現在を結びつけながら、登場人物の言動の意味を主体的に考える態度を育てる。

(3) 学習指導計画 (全5時間)

- ① 全文を通読し、それぞれの場面の時や出来事を整理する……………1時間
- ② 伏線を理解し、文章中から見付ける……………1時間(本時)
- ③ それぞれの伏線の効果を考え、共有し、まとめる……………1時間
- ④ タクジが転ばないロボットを作らなかった理由を考える……………1時間
- ⑤ 最後の一文の意味を考え、作者からのメッセージを読み、感想を書く……1時間

2 成果と課題

授業振り返りの視点として、「①学びがいのある課題設定」、「②学びの過程の振り返り」、「③対話的な学び」の3点が挙げられる。①は作品の構造として、伏線によって読み手は終盤で驚きや感動を味わうため、そこに着目した言語活動の工夫が求められる。②は評価基準を生徒と共有し、単元内での試行錯誤や気づきを次につなげたい。③は伏線を見付けることを手立てとした上で、生徒に対話の必要性を実感させたい。

3 本時の学習指導

- (1) 目標 伏線について理解し、文章中から見付け出すことができる。
登場人物の言動の意味を考え、自分の解釈をもつことができる。
- (2) 準備物 ワークシート
- (3) 学習指導過程 (○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点および評価
<p>1 絵本「おこだでませんように」を読む。</p> <p>2 本時の学習課題を知る。</p>	<p>○ 本時の導入として、教師が絵本「おこだでませんように」を読み聞かせる。</p> <p>○ 絵の中の伏線となるような部分に注目させながら、それがどのような意味をもつか問いかける。</p>
<p>伏線を理解し、文章中から見付けよう。</p>	
<p>・伏線についての内容を教科書で確認する。</p> <p>3 「ヒューマノイド」の文章中から伏線を探す。</p> <p>・各場面の時や出来事をまとめたワークシートを確認し、内容を振り返る。(基)</p> <p>・後半部分を読み、伏線だと思う箇所に線を引いたり、ワークシートに書いたりする。</p> <p>・班で共有し、ワークシートにまとめる。</p> <p>4 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>○ 伏線の説明をする際、「伏線」や「伏線回収」という言葉を聞いたことがあるか質問し、班で話す時間をとる。</p> <p>○ 本文を読むのを苦手とする生徒が、このワークシートからも伏線を見つけられるように作成しているため、内容を振り返るのに適している。</p> <p>○ 物語の後半部分を読み、後半部分に関連した内容が前半部分になかったか問いかける。</p> <p>○ 前半部分と後半部分で、単語や短文の関連部分を探すように指示する。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 物語の前半部分と後半部分で、以下にあるような関連するものや場面を見付けることができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し出てくる「絵の具」。 ・「タクジ」の転倒と「ロボット」の転倒の場面。 ・「大勢の前で名前を呼ばただけでも恥ずかしくなる」と言った「僕」が、最後に大勢の前で名前を呼ばれる場面。など [ワークシート] <p>○ 本時で学んだ伏線の感想を書かせ、伏線がある他の作品などを書くように指示し、次時で発表する。</p>

